

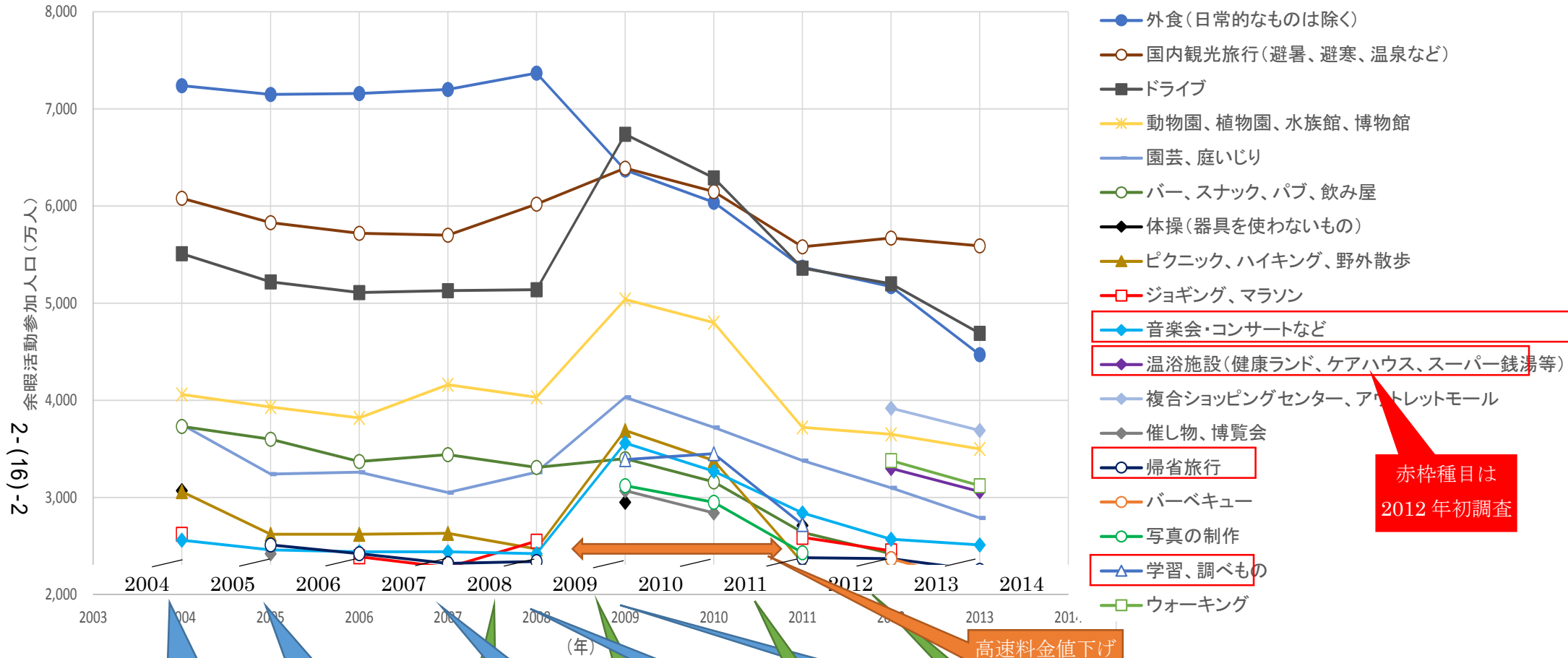
(16) レジャー白書のまとめ

レジャー白書のまとめ

○余暇活動種目別参加人口の変化について

以下 2004～2013 年の 10 年分のレジャー白書から映画などの屋内レジャー等を除き、余暇種目の参加人口に関してまとめた。

- ・「国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）」、「ドライブ」、「外食（日常的なものは除く）」の 3 種目が長年上位 3 位を占め、余暇活動種目として定着している。
- ・また、参加人口が 5,000 万人を超える種目も、上記 3 種目のみであった。
- ・動物園、植物園、水族館、博物館は 2011 年以前までは 4 位を維持し、2012 年以降も 5 位であり、普遍的な魅力があることが推察される。
- ・2012 年から調査種目に追加された種目の内「温浴施設」、「複合ショッピングセンター、アウトレットモール」、「ウォーキング」は中位に位置しており、調査開始以前から潜在的に参加人口はいたと推察される。
- ・近年の余暇参加人口は全体的に減少傾向にある。
- ・2009 年にドライブ参加人口が増えたのは、高速料金の値下げが影響していると考えられる。値下げの終了とともに参加人口は開始前と同水準に戻り、ガソリン価格の高騰も影響してか 2013 年には過去 10 年間で初めて 5,000 万人を下回った。
- ・日経平均株価と反比例の動きをする種目も多く、景気の悪い時期は労働時間が減り、余暇活動に充てる時間を確保しやすい状況から各種目の参加人口が増加した可能性がある。
- ・2009 年からは消費者の節約志向が高まり、それまで 1 位だった外食の参加人口が減ったと推察される。
- ・団塊世代の大量定年退職（2007 年問題）と再雇用が進んだ後の 65 歳定年（2012 年問題）により、主な国内旅行者が時間・予算に比較的余裕のある高齢者へ移行し、参加人口の変動が少なくなっている可能性がある。
- ・参加人口に影響する因子としては景気状況もあるが、最も関係がある因子は時間である可能性が示唆される。
- ・参考までに 2013 年から調査種目に追加された「読書（仕事、勉強などを除く娯楽として）」は 4,440 万人で、4 位相当。「ウィンドウショッピング（見て歩きなど娯楽としての）」は 3,540 万人で 7 位相当になる。



1. 観光・行楽系活動の回復
2. 「映画」の好調
3. 自宅で楽しむ余暇の低調

日常的で比較的単価が安く、
手軽なレジャーが盛調

近場の行楽系・都市型の
レジャーは比較的盛調

キーワード：日常型レジャー
「安・近・短」

キーワード：「安・遠・短」

高速料金値下げ
2009.3~2011.6

リーマン・ショック
2008.9

政権交代
2009.7

東日本大震災
2011.3

第2次安部内閣発足
2012.12

図1 余暇活動種目別参加人口の変化

音楽会・コンサートなど
催し物、博覧会
写真の制作

帰省旅行
学習、調べもの

パーベキュー

経済指標

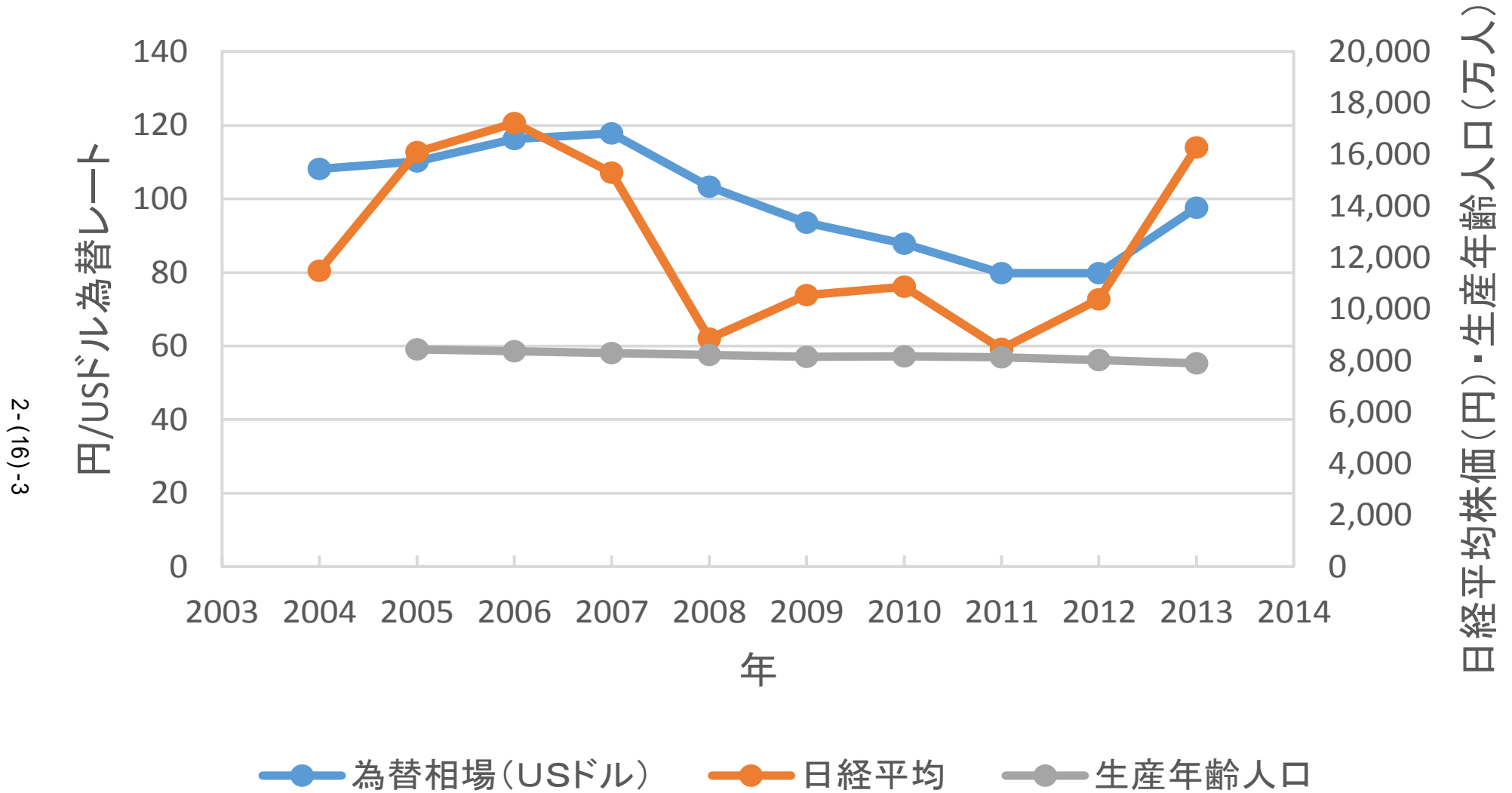


図2 経済指標の推移

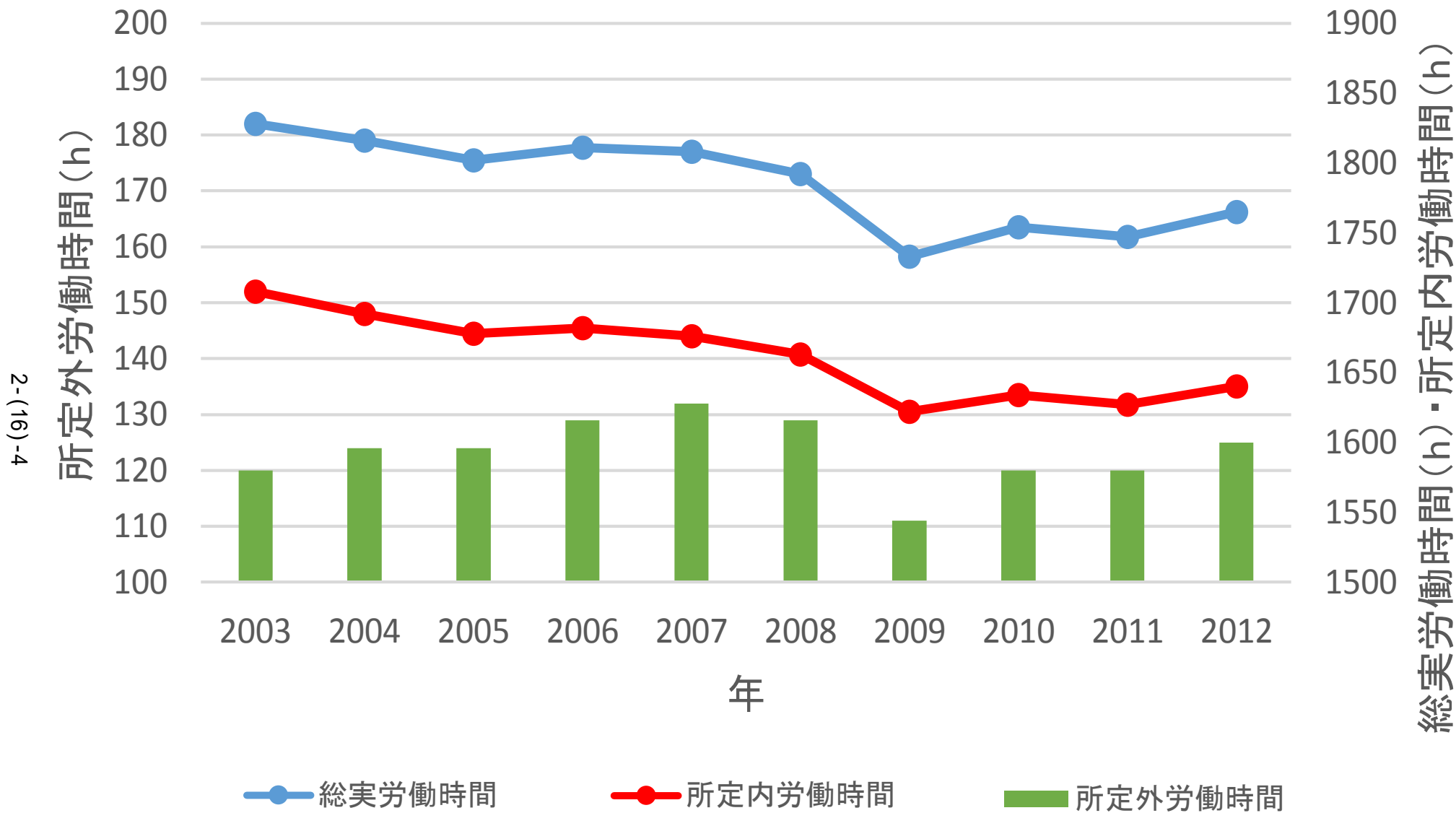


図3 労働時間の推移

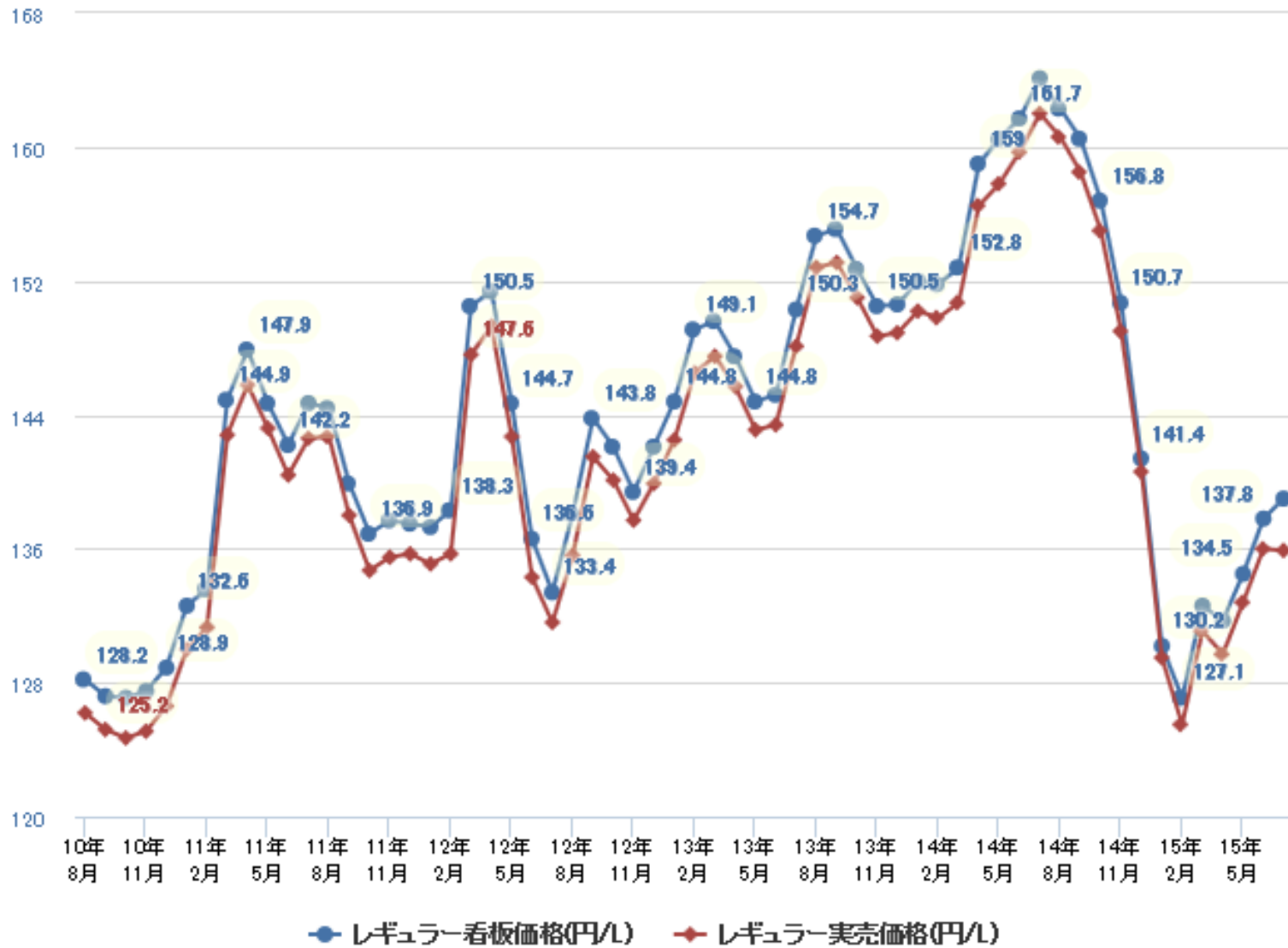


図4 2010年以降のレギュラー価格の推移

(e 燃費HPより：http://e-nenpi.com/gs/price_graph/6/1/0/)

(参考)

表1 余暇活動種目別参加人口の変化(単位:万人)

余暇活動種目	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	順位
1.観光・行楽系活動の回復	7240	7150	7160	7200	7370	6370	6040	5370	5170	4470	1
2.「映画」の低調	6080	5830	5720	5700	6020	6390	6150	5580	5670	5590	2
3.自宅で楽しむ余暇の低調	5510	5220	5110	5130	5140	6740	6290	5360	5200	4690	3
日常的で比較的単価が安く、手軽なレジャーが盛調	4920	4540	4290	4310	4430	5000	4680	3910	3660	3360	4
近場の行楽系・都市型のレジャーは比較的盛調	4870	4470	4160	4240	4400	5010	4550	3970	3420	3120	5
キーワード:「安・近・短」	4590	4380	4600	4230	4560	4650	4440	3840	3530	3330	6
キーワード:「安・遠・短」	4430	4250	4080	4050	4470						7
高速料金値下げ 2009.3~2011.6	4390	4100	3870	4010	4140	5260	5150	4160	4090	3780	8
	4240	4040	3690	3800	3960	5150	4700	4110	4000	3110	9
	4060	3930	3820	4160	4030	5040	4800	3720	3650	3500	10
	3750	3240	3260	3050	3260	4030	3720	3380	3100	2790	11
	3730	3600	3370	3440	3310	3400	3160	2640	2420		12
	3200	2760	2510	2510	2350						13
	3190	2930	2760	2860	2780	3160	2770			2100	14
	3070					2950		2710			15
	3060	2620	2620	2630	2470	3690	3380	2330			16
	3030	2640	2790	2810	2910	4440	3960	3090	3070	2500	17
	3010	2760	3110	3180	3300	4720	4290	3340	3080	2530	18
	2620		2390	2280	2550			2590	2450		19
	2560	2460	2440	2440	2420	3560	3270	2840	2570	2510	20
									3300	3060	
									2510	2230	
									3920	3690	
		2420				3070	2840				
		2510	2420	2320	2340			2380	2370	2250	
									2370	2110	
							3000				
						3120	2950	2430			
						3390	3450	2720			
									3380	3120	

※パソコン(ゲーム、趣味、通信など)の参加人口はインターネット調査であることを考慮して2009年から除外

2-(16)-6

赤枠種目は
2012年初調査